

ソフトウェアテストといえば

**SHIFT**

# 2017年8月期 第1四半期決算説明会資料

株式会社SHIFT(証券コード:3697)

2017年 1月12日

# AGENDA

---

1. 決算概要
2. 成長戦略の進捗
3. 今期計画および足元

# 1. 決算概要

# 1. 決算概要

<p>FY2017 事業方針</p>	<p>中期成長戦略「SHIFT' 100」のもと、更なる事業規模拡大に備え、成長を支える企業基盤の強化と、業界における確固たる地位の確立に向けたドラスティックな先行投資活動を推進</p>	
<p>FY 2017 1Q</p>	<p>決算概要</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 売上高 実績: 1,363百万円 (前年同期比 19.6 %増)</li> <li>■ 売上総利益 実績: 399百万円 (前年同期比 17.1 %増)</li> <li>■ 営業利益 実績: 23百万円 (前年同期比 58.1 %減)             <ul style="list-style-type: none"> <li>□ 業績は、概ね計画通りに推移しつつ、今後の成長に向けた事業戦略の推進により、伸びは一時的に鈍化(バリストライドグループ社の連結は第2四半期より開始)</li> <li>□ 営業利益は、M&amp;A費用(24.5百万円)の計上により一時的に大幅減益となったものの、計画比プラスで着地</li> </ul> </li> </ul>
	<p>事業概要</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 既存領域での受注環境は順調を維持、新たな領域の開拓・拡大に注力             <ul style="list-style-type: none"> <li>□ エンタープライズは、高難易度かつ大型プロジェクトへの参画を目指した活動を推進 新たに採用したハイスキル人材を中心に積極的な営業活動と社内技術レベル向上を進める 新規顧客の獲得と既存顧客での継続受注を背景に順調に推移</li> <li>□ エンターテインメントは、既存領域の成長を維持しつつ、前第4四半期に進出した新領域での案件受注が順調に進む</li> </ul> </li> </ul>
	<p>成長戦略 トピックス</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 業界コア企業としてのポジショニング確立へ向け、実力強化を最優先とした施策を推進             <ul style="list-style-type: none"> <li>□ ハイスキル人材の順調な獲得が進み、大型エンドユーザー(事業会社)に対応するために組織力とサービスレベルを強化</li> </ul> </li> </ul>
<p>FY2017 通期 業績予想</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 上期は、今後の事業成長を加速させ、「品質保証」の専門企業として更なる需要を創造し、第一人者としての地位を確立するための先行投資を積極的に推進 上期業績は、成長鈍化を織り込んで計画</li> <li>■ 下期からの投資回収と成長の加速を予定する</li> </ul>	

# 1. 決算概要

売上総利益率は、ほぼ横ばいで推移  
M&A関連費用(24.5百万円)が一時的に営業利益を押し下げる

単位:百万円	FY2017 1Q	FY2016 1Q	前年同期比	FY2016 4Q (会計期間)	前四半期比
売上高	<b>1,363</b>	1,140	19.6%	1,492	△8.6%
売上総利益	<b>399</b>	341	17.1%	443	△9.8%
売上総利益率	<b>29.3%</b>	29.9%	△0.6pt	29.7%	△0.4pt
販管費	<b>376</b>	285	31.6%	306	22.6%
営業利益	<b>23</b>	55	△58.1%	136	△83.0%
営業利益率	<b>1.7%</b>	4.9%	△3.2pt	9.1%	△7.4pt
経常利益	<b>37</b>	55	△32.3%	184	△79.8%
税前利益	<b>37</b>	55	△32.3%	185	△79.8%
親会社株主に帰属 する四半期純利益	<b>9</b>	37	△75.5%	86	△89.5%

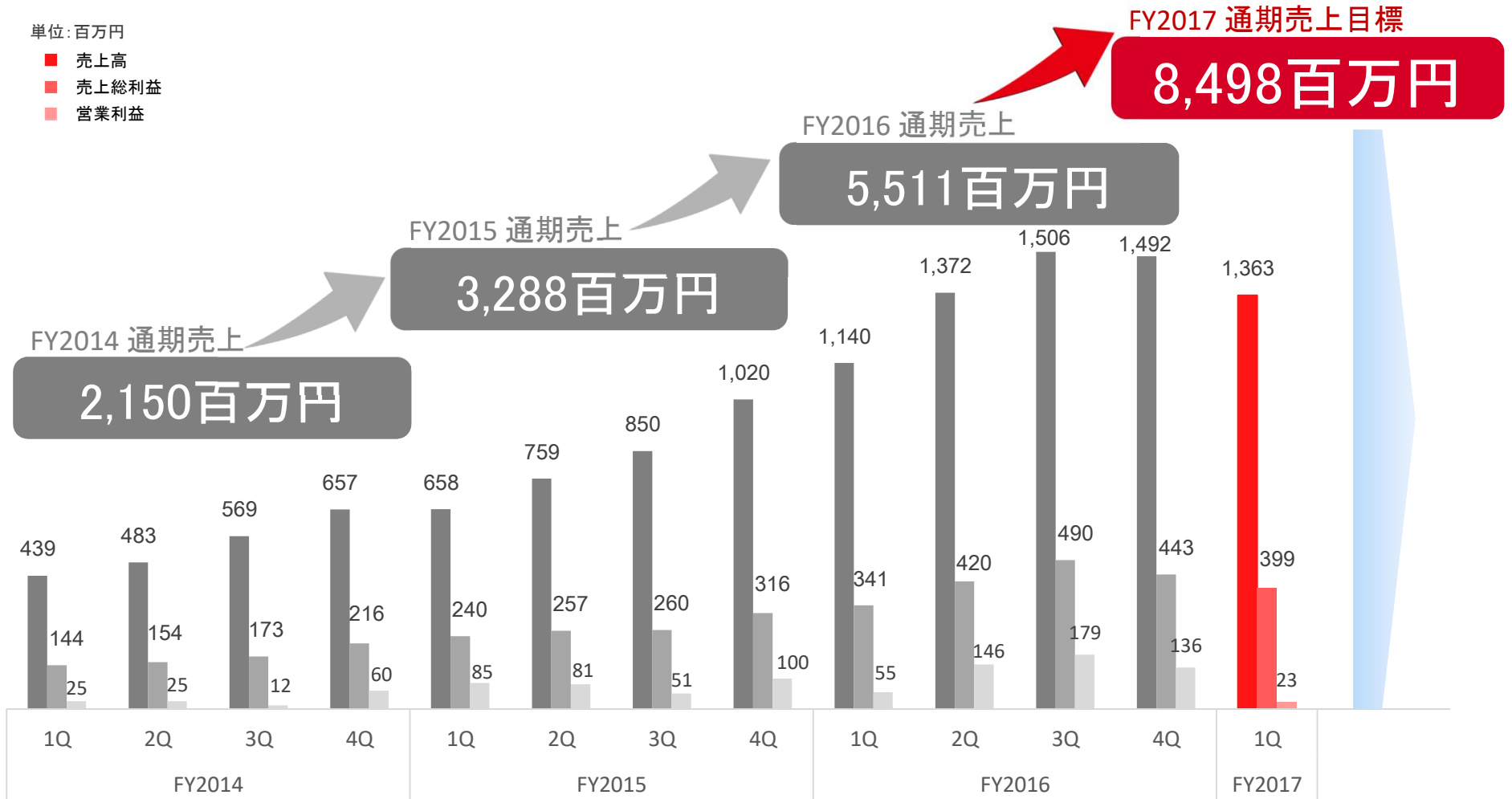
# 1. 決算概要

四半期業績推移

前四半期から継続し、次のフェーズへ向けたステップアップのための“基盤固めの時期”として、成長への先行投資を最優先に位置づける

単位:百万円

- 売上高
- 売上総利益
- 営業利益



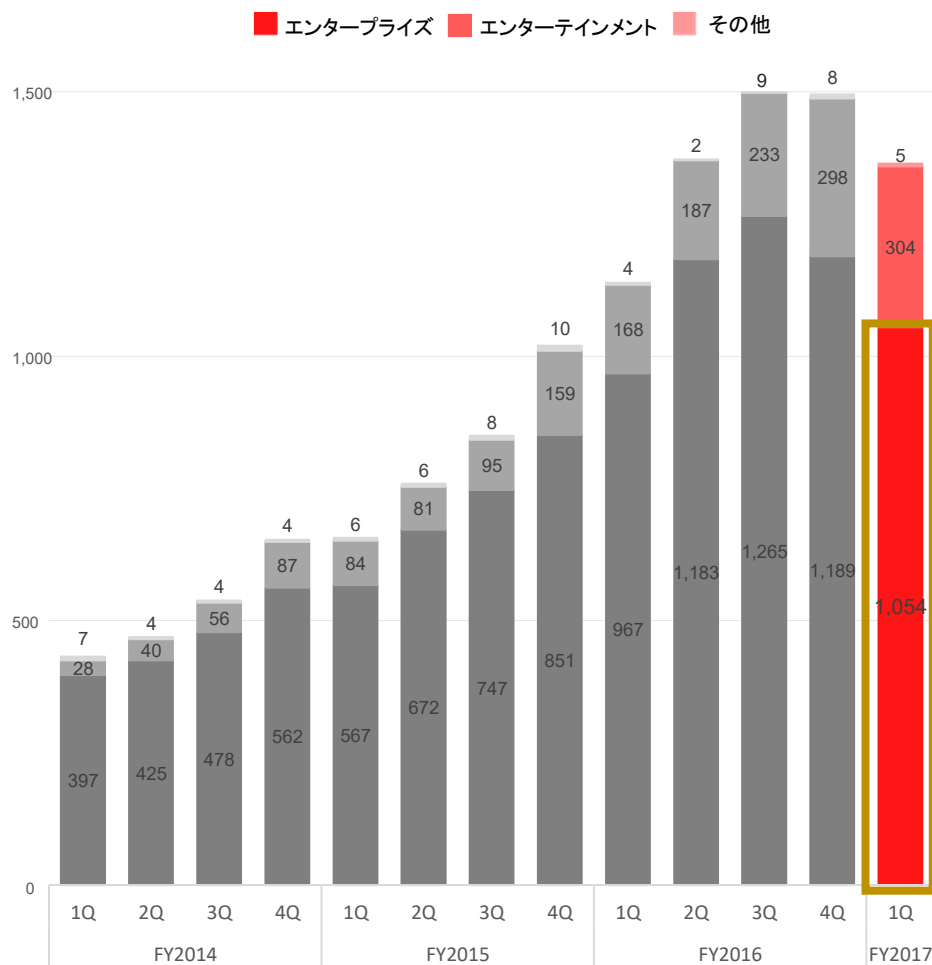
# 1. 決算概要

## セグメント別業績推移

エンタープライズ領域は、今後の成長に向け、体制とサービス強化を重点的に推進

単位: 百万円

### 対面市場別業績推移



### 1Q状況と2Q取り組み

#### エンタープライズ

##### 【1Q状況】

- **金融、流通、サービス業界への積極的な種まき**  
 ⇒各注力業界に精通したハイスキル人材の獲得が順調に進む  
 即戦力として、案件受注に向けた提案活動に参加、社内教育も推進  
 ⇒SHIFT独自サービスである「TCoEモデル」、「Wモデル+ONE」による  
 品質保証体制構築が進展

##### 1Qより参画した、メンバーの一例



大手SIerで、金融・保険業界などのプロジェクトを手掛ける。  
 オフショアテスト組織の立上げも経験。



国内独立系SIerで、製造業向けビジネスプロセス改革コンサルティングに従事。

- **注力領域へリソースの確保・投下のため、選択と集中を進める**  
 ⇒SHIFTの関わり方と将来へ向けたポテンシャルを見極め、取捨選択

##### 【2Q取り組み】

- **ハイスキル人材の継続採用およびアサイン**  
 ⇒開発上流からの仕事獲得と、下流のテスト業務の獲得を狙う(刈り取り)
- **金融、流通業界における大型プロジェクト獲得へ向けた活動**  
 ⇒業界主要企業とのプロジェクト単位から会社単位への取引拡大

# 1. 決算概要

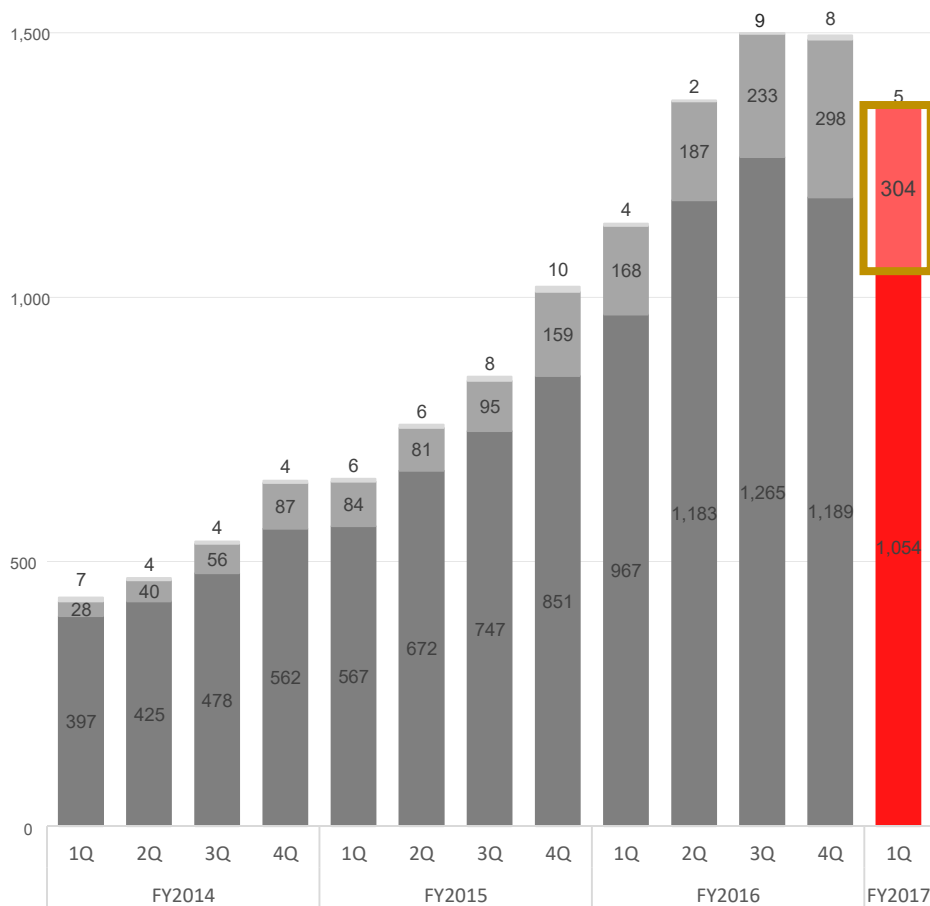
## セグメント別業績推移

### エンターテインメント領域は、引き続き市場シェアを伸ばす

単位:百万円

#### 対面市場別業績推移

■ エンタープライズ ■ エンターテインメント ■ その他



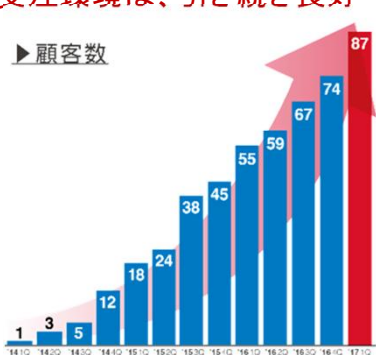
#### 1Q状況と2Q取り組み

##### エンターテインメント

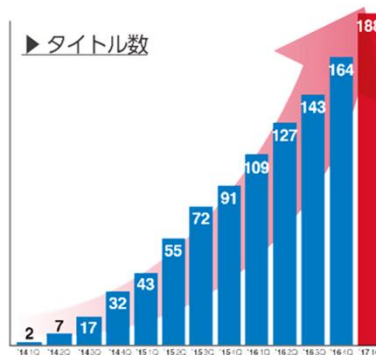
###### 【1Q状況】

・受注環境は、引き続き良好

▶顧客数



▶タイトル数



・コンシューマーゲーム(CS)、VRでの案件受注が始まる

⇒サービス立ち上がりは両領域ともに順調、有名タイトルへの参画が進む

<1Qでの代表的な事例>

Play Station(R)4用サバイバルアクションゲーム「LET IT DIE」

配信: ガンホー・オンライン・エンターテイメント株式会社(2017年2月2日配信予定)

※参照(<http://www.shiftinc.jp/news/news-2146/>)

###### 【2Q取り組み】

●モバイル分野での受注拡大を継続的に見込む

●CS、VR分野での更なる受注促進活動

⇒SHIFTブランドの強化のため、業界での露出機会を増やす

- ・セミナーなどでの品質保証の専門家としての登壇
- ・専門情報サイトへの寄稿 など



# 1. 決算概要

## 販管費の推移

採用効率化が功を奏し、YoYでの採用費比較でその成果を確認

エンジニア(正社員)採用人数: 2016年1Q 23名 ⇒ 2017年1Q 39名

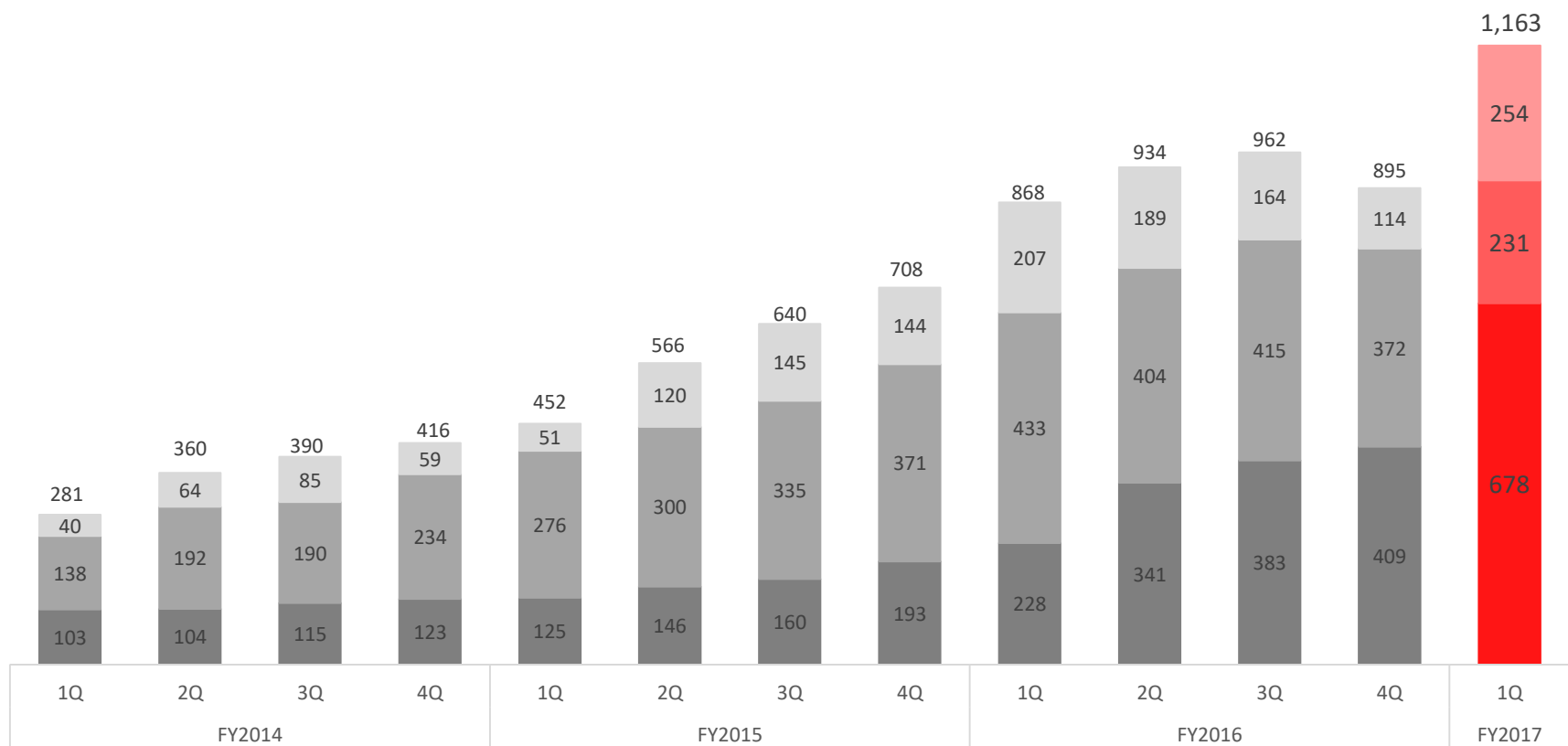
単位: 百万円	FY2017 1Q	FY2016 1Q			FY2016 4Q			備考
	実績	実績	増減額	増減率	実績	増減額	増減率	
人件費	<b>200</b>	132	68	+51.3%	179	21	+12.1%	間接人員の補充・強化および入社時の技術研修増加による
対売上高比	14.7%	11.7%	+3.1pt		12.0%	+2.7pt		
採用費	<b>59</b>	58	1	+1.7%	42	17	+40.2%	ハイスキル人材の採用を積極的に推進
対売上高比	4.4%	5.2%	△0.8pt		2.9%	+1.5pt		
地代家賃	<b>11</b>	10	0	+8.1%	12	△1	△8.2%	
対売上高比	0.8%	0.9%	△0.1pt		0.8%	+0.0pt		
支払報酬	<b>35</b>	23	12	+55.9%	15	19	+124.9%	M&Aのアドバイザリー費用など
対売上高比	2.6%	2.0%	+0.6pt		1.1%	+1.6pt		
のれん償却費	<b>5</b>	-	5	-	5	0	+4.9%	バリストライドグループののれん償却は2Qより開始
対売上高比	0.4%	-	+0.4pt		0.4%	+0.1pt		
減価償却費	<b>5</b>	3	2	+75.9%	7	△2	△27.0%	
対売上高比	0.4%	0.3%	+0.1pt		0.5%	△0.1pt		
その他	<b>56</b>	57	△0	△1.0%	43	13	+30.9%	社内イベント、株主総会費用など
対売上高比	4.2%	5.0%	△0.9pt		2.9%	+1.3pt		
合計	<b>376</b>	<b>285</b>	<b>90</b>	<b>+31.6%</b>	<b>306</b>	<b>69</b>	<b>+22.6%</b>	
対売上高比	27.6%	25.1%	+2.5pt		20.6%	+7.0pt		

# 1. 決算概要

## エンジニア数の推移

バリストライドグループ、メソドロジックの参画により正社員のエンジニア数、パートナー数が大幅に増加

■ パートナー ■ エンジニア\_臨時雇用 ■ エンジニア\_正社員



※ 末日時点での雇用契約が有効な人員数。  
 ※ 登録型アルバイトの人員は含まれておりません。  
 ※ バックオフィスの人員は含まれておりません。

# 1. 決算概要

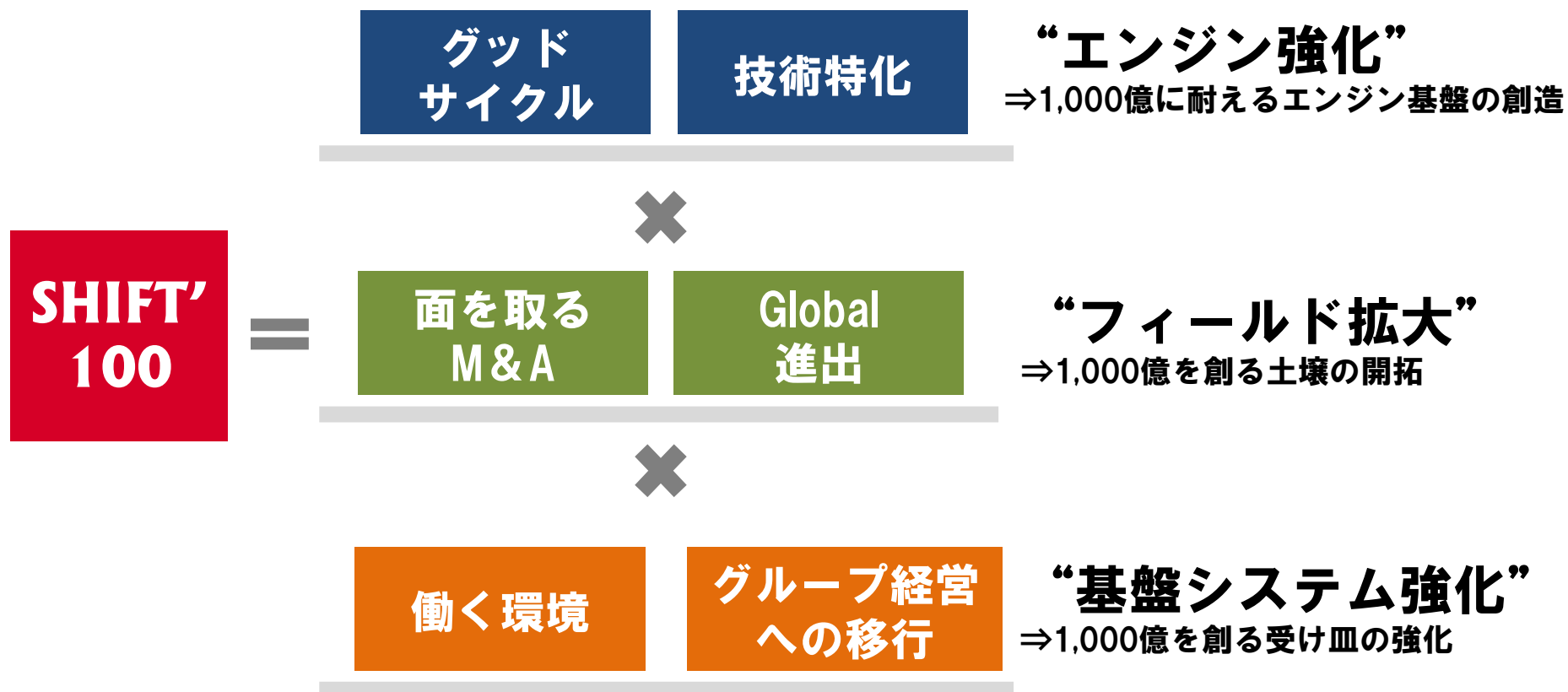
## 連結貸借対照表

2017年1Q末にバリストライドグループを新たに連結した影響により、  
企業規模が拡大

単位:百万円	FY2017 1Q	FY2016 1Q	前年 同期末比	FY2016 4Q	前期末比	備考
流動資産	<b>3,231</b>	1,718	88.1%	2,681	20.5%	
うち現金及び預金	<b>1,909</b>	1,000	90.9%	1,635	16.8%	
有形固定資産	<b>196</b>	178	9.9%	186	5.1%	
無形固定資産	<b>910</b>	93	875.7%	320	184.5%	
投資その他	<b>584</b>	179	226.5%	175	233.8%	ワークスアプリケーションズとの業務資本提携に伴う同社株式取得
総資産	<b>4,922</b>	2,168	127.0%	3,363	46.4%	
流動負債	<b>1,271</b>	598	112.5%	999	27.2%	
固定負債	<b>1,787</b>	16	-	535	233.7%	戦略的投資活動のための借入を実施
純資産	<b>1,864</b>	1,553	20.0%	1,828	2.0%	
うち非支配株主持分	<b>108</b>	25	333.4%	86	25.1%	子会社における業績好調により増加

## 2. 成長戦略の進捗

# 1,000億を実現するための100億を創る



## 2. 成長戦略の進捗

FY2017 活動方針

引き続き、売上1,000億円を創るための成長基盤の構築に取り組む

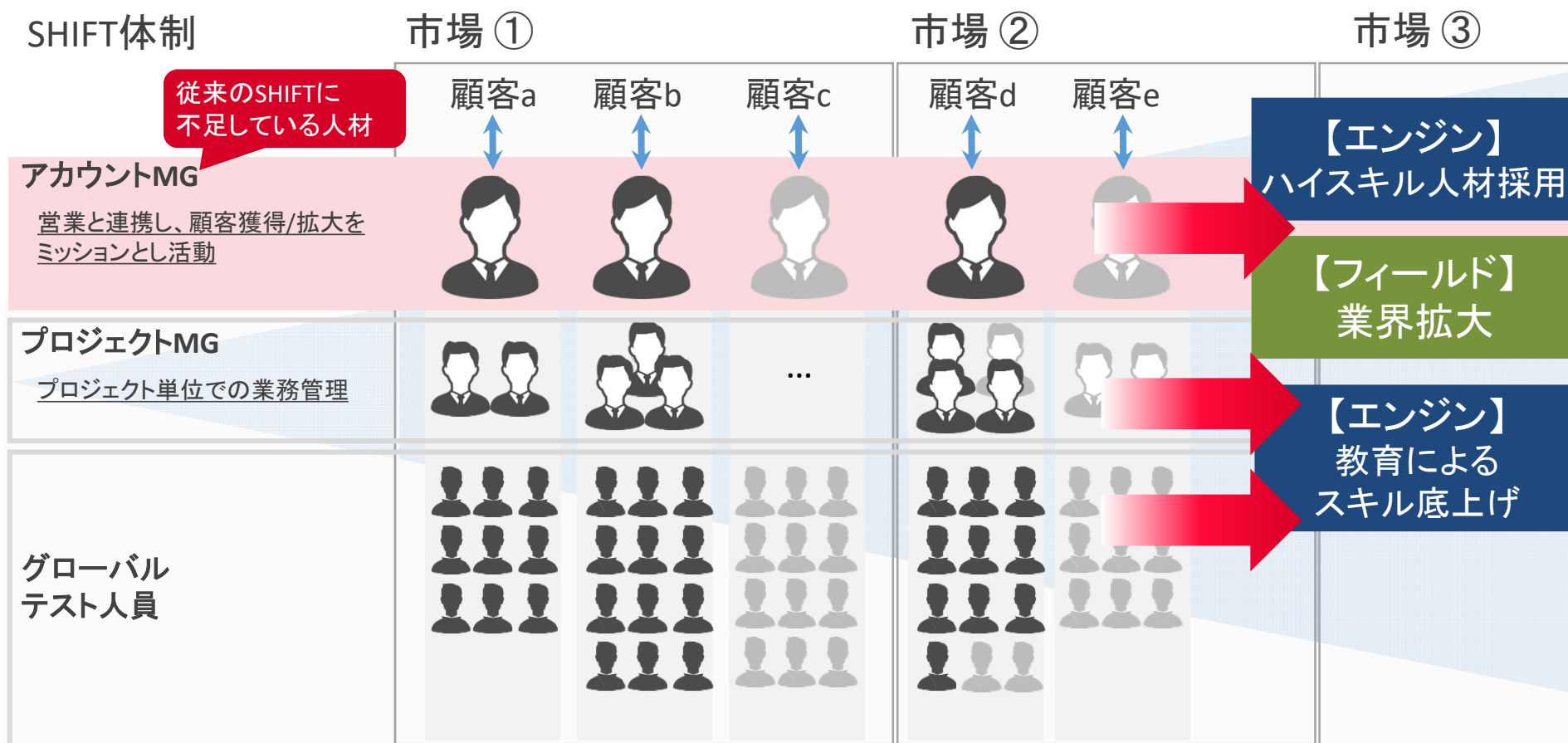


(百万円)	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	対前年比(%)	百万円	対前年比(%)	百万円	対前年比(%)	百万円	対前年比(%)
第2四半期 累計	3,498	39.2%	122	△39.4%	139	△32.5%	65	△49.8%
通期	8,498	54.2%	575	11.1%	603	5.9%	331	7.7%

## 2. 成長戦略の進捗

### エンジン/フィールド強化に関する取り組み

【業界主要顧客の獲得】上期は、各業界において“面をとる”ための組織力としくみを強化し、下期での業界トップ企業の顧客化を狙う



## 2. 成長戦略の進捗

### エンジン/フィールド強化に関する取り組み

ハイスキル人材獲得により、「提案力」「教育」「ナレッジ」の強化が進み、更なる高みを目指す

# 業界を牽引できる強い組織を創る

## 提案力

ハイスキル人材が持つ業界に対する深い知識と経験に、SHIFTの品質保証に関する技術とナレッジを合わせ、提案力の強化を実現。  
また、教育によりスキルレベルの向上した既存メンバーのアサインが可能となることにより、より柔軟な提案と受注力の強化を見込む。

個の  
チカラ

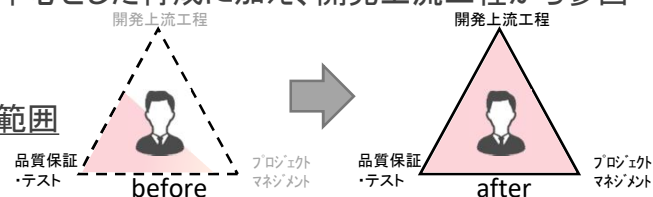
SHIFTの  
強み

SHIFTの  
組織力

## 教育

ナレッジ同様に、これまでの品質保証・テストを中心とした育成に加え、開発上流工程から参画するための育成、巨大プロジェクトにおけるマネジメントスキルの育成が可能となる。

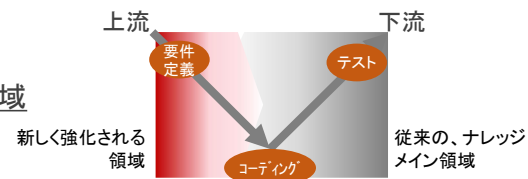
教育の対象範囲



## ナレッジ

品質保証・ソフトウェアテストを中心とした開発下流工程にフォーカスした視点に、開発上流工程からの視点を追加。  
より開発プロジェクト全体に対応できるナレッジを構築。

開発工程における  
SHIFTのナレッジ領域





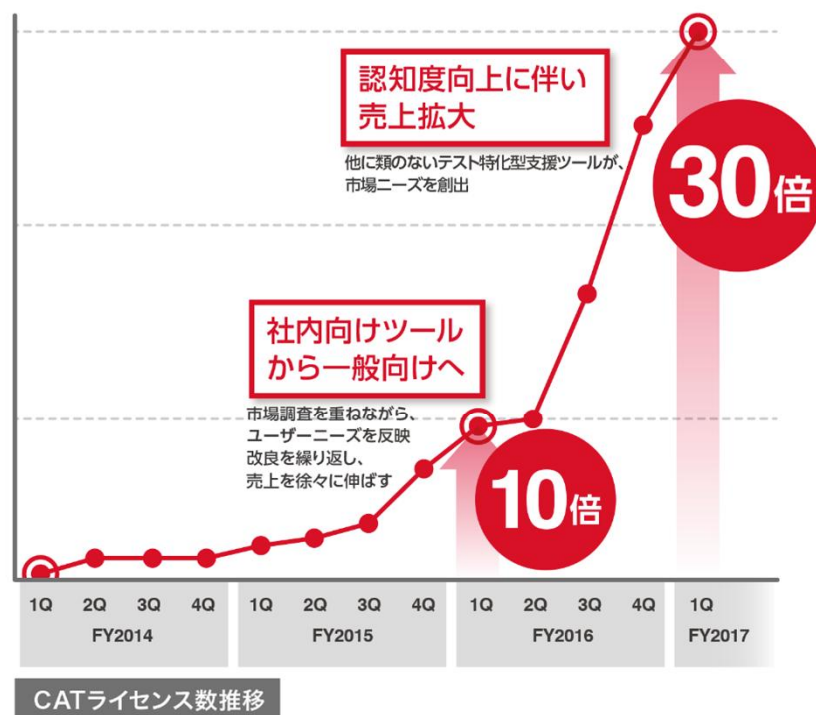
## 2. 成長戦略の進捗

### エンジン強化に関する取り組み

SHIFTのテスト業務における効率化の知見を反映した、ソフトウェアテスト業務管理ツール「CAT」の外販が加速しはじめる

## 「CAT」の販売ライセンス数の増加推移

※2014年1Q末時点での販売ライセンス数を基準とした時の増加率



直近の「CAT」の動き

定期的なリピート/拡大受注

大型クライアントへの導入

同業他社への競合優位性

今後の動き

2017年2月  
ダウンロード版リリース

▶ 事前トライアルが大変好評、すでに多くの受注を頂く

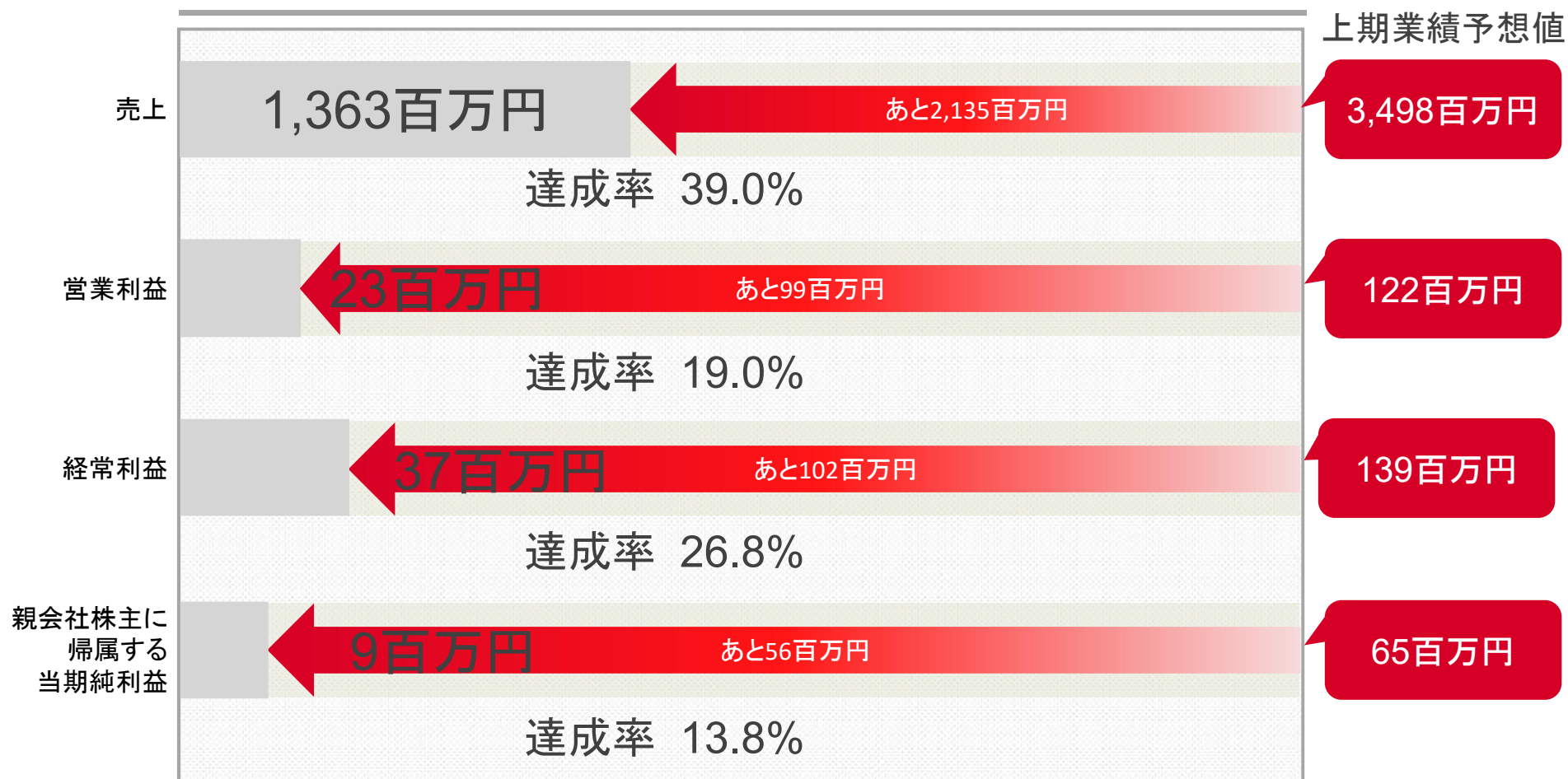
# 3. 今期計画および足元

### 3. 今期計画および足元

業績見通し

業界のコア企業へ。上期、新たな高みへのステップアップを目指し  
更なる成長とシェア拡大へ向けた土台強化に重点的に取り組む

FY2017 上期連結業績予想



この産業が日本発、世界へ行く為に

## グローバルな分業が進む、ソフトウェアの製品開発。

“日本人”である我々が得意とする分野での価値提供による国際市場での拡大を目指す。



「すべてのソフトウェアにMade in Japanの品質を」

ITが広がる世の中に、安心・安全・安価な品質を根付かせる。

これがSHIFTの目指す未来です。

## 将来見通しに関する注意事項

本発表において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」(forward-looking statements)を含みます。

これらは、現在における見込み、予測およびリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。それらのリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。

今後、新しい情報や将来の出来事等があった場合であっても、当社は本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正を行う義務を負うものではありません。

株式会社SHIFT  
<http://www.shiftinc.jp/>

■お問い合わせ  
[ir\\_info@shiftinc.jp](mailto:ir_info@shiftinc.jp)